

知的障害特別支援学校高等部生徒の 移行教育・進学に関する一考察 — 移行支援Web掲示板の記述を追って —

大 杉 成 喜

In-Depth Analysis of Journal on Web Bulletin Board about Transitional Education and Vocational Training at Special Support High School

Nariki OSUGI

(Received October 26, 2012)

Transitional education is prime leading program in the special high school with intellectual disabilities. Students with mild intellectual disabilities often aim at full-time job. Information of the employed graduates in the job market is helpful for guidance and counseling for transitional education. Since 2008, the web board system of Special School of Shiga University has accumulated suggestions and ideas which stemmed from interaction of students and the graduates. It was found that the journal in the web community is effective data for job training and job search.

In the early state of transitional programs, students' job perspectives were rather vague, however, their goals became more clear because exchanges of ideas on the system transformed their attitudes toward job into more confident. As a result, on-site job training and supervision, students found joy and dignity as good workers.

Key words : special support high school, transitional education, web bulletin board system

1. 研究の背景

(1) 知的障害特別支援学校の職業教育・移行教育について

2009（平成21）年3月9日公示の新しい特別支援学校学習指導要領では、主な改善事項として「障害の重度・重複化、多様化への対応」「一人一人に応じた指導の充実」「自立と社会参加に向けた職業教育の充実」「交流及び共同学習の推進」があげられている。このうち高等部段階の教育では職業教育・移行教育が重要である。

職業教育・移行教育は生徒の進路先となる産業現場の実態に応じて適切な教育内容の設定が重要である。関（1996）は近年の産業構造の変化に伴い、知的障害者の就労についても製造業中心からサービス業等に変化が見られることを指摘し、それに対応した「職業指導・教育」を拡充することが必要である

と述べている。清水・内海・鈴木（2005）は知的障害者の新たな職域として、介護業務、保育士補助、事務補助、商品補充・管理、販売・接客、ビルクリーニングなどが増えてきたことをあげ、それに伴い知的障害特別支援学校の進路指導は本人の主体形成を目指す進路学習やネットワーク作りが基盤の個別移行支援計画といった「新たな進路指導」へ転換しようとしていると指摘している。近年、一部の知的障害特別支援学校高等部では教科「職業」の時間において、ビルクリーニングやロジスティック（物流）、介護等の内容を取り入れた授業が行われるようになってきている。

知的障害特別支援学校の職業教育において、具体的な仕事内容を学習させることも重要であるが、就労場面で遭遇する様々な問題について対処する力をつけることも必要である。大杉・木村・三川・黒田（2008）は「安定した就労生活を支援するためには、職業技能を向上させるとともに、その職務での適切なコンピテンシー（competency：行動特性）を学ぶ

ことが重要である。さらに、就労生活を通して起こる様々な問題を解決できることも必要となる。」と指摘した。こういった問題解決の力は、授業の中での例示やロールプレイだけでは身につけることは困難である。具体的な事例を通して考えることが必要であり、また問題場面の中から何を学び汎化していくかが重要である。そのためには、教員も含めて具体的な問題事例の共有化が必要である。

(2) 高等部卒業後の「教育訓練機関等」への進学

障害者自立支援法（2005）および改訂障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）（2012）の制定の背景のひとつに、障害者の職業生活の改善がある。たとえば、障害者の働く場として社会福祉施設（就労継続A型・福祉工場、就労継続B型・旧法授産施設、就労移行支援等）があるが、より労働賃金の高い福祉就労へ、さらには一般企業等への就労を増やしていくことを目指している。この中の「就労移行支援事業」は福祉事業所が期限を設定し、一般就労等への移行に向け事業所内や企業において作業や実習を行い、適性に合った職場探し、就職後の職場定着支援を実施していくものであり、職業訓練的な色彩が強い。

特別支援学校高等部生徒は、卒業時に一般就労か福祉就労かを決定するだけでなく、社会福祉施設に進んだ生徒も進路先で就労のための研鑽を続けられるようになってきている。

最新の特別支援学校高等部を卒業する生徒の状況はTable 1の通りである（文部科学省，2012）。知的障害者については福祉施設や医療機関8,145名（64.8%）、就職者3,440名（27.4%）が多いが、進学者77名（0.6%）、教育訓練機関等257名（2.0%）も

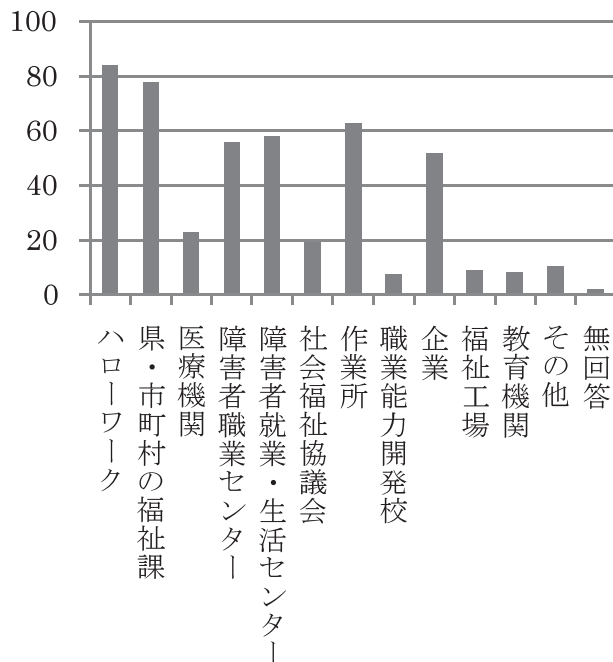


Fig.1：知的障害特別支援学校における関係諸機関との連携（国立特別支援教育総合研究所，2009）

見られる。職業能力開発校、障害者職業能力開発校等においても、知的障害者を対象とした職業教育が実施されている。

原田・千田・柳沢（2009）は「障害のある子どもへの進路指導・職業教育の充実に関する研究」アンケート調査において「知的障害特別支援学校における関係諸機関との連携」は「ハローワーク」「県・市町村の福祉課」が多く、「職業能力開発校」「福祉工場」「教育機関（高等学校，専門学校，大学）」は連携の割合が低いと述べている（Fig. 1）。

これは、特別支援学校のカリキュラムがまだ改訂

Table1：特別支援学校高等部（本科）卒業後の状況－国・公・私立計－【平成23年3月卒業者】

区分	卒業者	進学者	教育訓練機関等	就職者	施設・医療機関	その他
計	16,854 (100.0%)	480 (2.8%)	447 (2.7%)	4,096 (24.3%)	10,905 (64.7%)	926 (5.5%)
視覚障害	490 (100.0%)	113 (23.1%)	13 (2.7%)	80 (16.3%)	238 (48.6%)	46 (9.4%)
聴覚障害	534 (100.0%)	210 (39.3%)	46 (8.6%)	184 (34.5%)	79 (14.8%)	15 (2.8%)
知的障害	12,562 (100.0%)	77 (0.6%)	257 (2.0%)	3,440 (27.4%)	8,145 (64.8%)	643 (5.1%)
肢体不自由	2,778 (100.0%)	47 (1.7%)	88 (3.2%)	332 (12.0%)	2,150 (77.4%)	161 (5.8%)
病弱	490 (100.0%)	33 (6.7%)	43 (8.8%)	60 (12.2%)	293 (59.8%)	61 (12.4%)

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2012/06/27/1322974_1_1.pdf
職業能力開発校…職業能力開発校、障害者職業能力開発校等

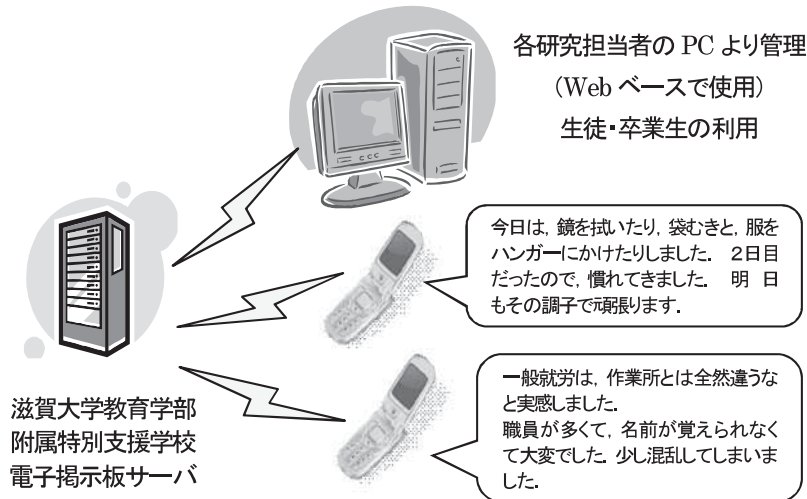


Fig.2：システムの概要

障害者総合支援法等の社会の変化に十分対応できていないことを示している。生徒の高等部卒業後のさらなる職業訓練・職業教育と連携したカリキュラムの構築が必要である。

(3) 滋賀大学教育学部附属特別支援学校高等部の携帯電話Webサイト活用実践について

滋賀大学教育学部附属特別支援学校では2008年度から、電子掲示板を構築し、卒業生と在校生の情報交換を行ってきた。この電子掲示板はWebベースで使用でき、生徒は主に携帯電話でアクセスを行う(Fig.2)。

システムは2008年当初、滋賀大学教育学部のサーバ内に設置していたが、現在は附属特別支援学校のサーバにNetCommons2(国立情報学研究所)を利用して構築している(石部・大杉・黒田,2012)。これにより、遠隔メンテナンスが容易となった。

2. 研究の目的

知的障害特別支援学校高等部生徒と卒業生が利用する携帯電話Web掲示板において、高等部卒業後、職業訓練機関に「進学」しその後一般就労した生徒一事例に焦点を当てる。生徒の記述の変容の分析をもとに、知的障害特別支援学校高等部における移行教育・進学の内り方について考察する。

3. 研究の方法

(1) 対象

滋賀大学教育学部附属特別支援学校高等部に在籍し一般就労・就労移行を目指す生徒、職業訓練校お

よび一般企業に就労している卒業生で、毎年度約10名の生徒・卒業生が参加してきた。

(2) 方法

携帯電話のWebブラウザ機能を使って滋賀大学内(2012年度5月23日まで)および滋賀大学教育学部附属特別支援学校内(2012年5月25日以降)に開設した電子掲示板に閲覧・記述していった。書き込む話題は現場実習や就労に関するものを中心としたが、学校や家庭での生活等に関するものも可とし、自由な時間に閲覧、書き込みを行わせた。在校生については、教科「職業」の時間内に使用方法を指導した。卒業生については、システムが更新されるごとに、青年学級(同窓会)および個別にその使用方法を指導した。

記入については、生徒・卒業生の自由な書き込みを尊重したが、記述が説明不足でわかりにくい場合や、解説が必要な場合、あるいは教員に対して質問を書き込んだ場合は、教員も書き込みを行った。

4. 結果の概要

(1) 総データ

各年度の教員のメッセージを除いた生徒・卒業生のメッセージ総数は、2008年度225メッセージ(卒業生70,在校生155),2009年度724メッセージ(卒業生30,在校生694),2010年度420メッセージ(卒業生139,在校生281),2011年度516メッセージ(卒業生209,在校生307),2012年度(10月12日まで)372メッセージ(卒業生301,在校生71)メッセージであった(Fig.3)。参加者は延べ19名で、年を追って卒業生のメッセージ数が増えてきている。これは、研究開始から、

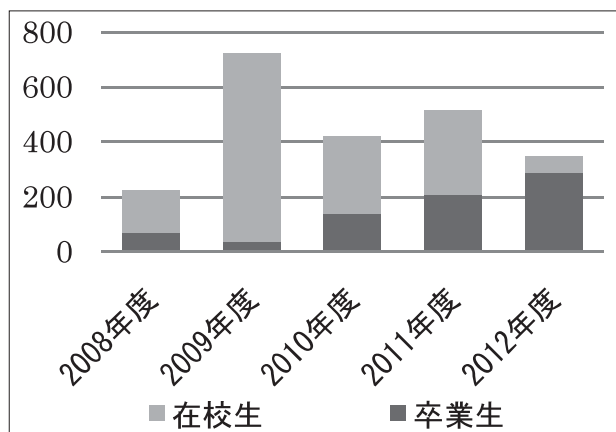


Fig.3：各年度の生徒・卒業生のメッセージ数

Table 2：4年間の総メッセージの概要

総文書数	2,257		
	最小	平均	最大
1文書あたりの語句数	2語	63語	484語
1文書あたりの文字数	6文字	97文字	680文字

(総メッセージから教員の記述を除いたもの)

年々卒業生が増えいくとともに、卒業後もWeb掲示板に書き込む習慣が定着してきたことによる。

書き込まれたメッセージの集計・分析にはテキストマイニングツールであるTRUSTIA/R.2Mining Assistantを使用した。

Table 2は生徒・卒業生の1メッセージあたりの語句数と文字数を集計したものである。「実習お疲れ様(2語6文字)」といった短いものから、長文まで様々である。

Table 3は4年間の生徒・卒業生のメッセージ(2,257)の名詞句・形容詞・動詞句について集計したものである。「テクノ」は職業訓練機関テクノカレッジの略称である。「クッキー」や「クッキー並べ」は就労継続A型およびB型事業所の業務内容のひとつのことで、名詞句は全体的に就労に関するもので占められ、それにつながる形容詞・動詞句が使用されている。

(2) 勤労青年の記述

Web掲示板による実践研究開始時の2008年度に高等部2年生で、高等部卒業後職業訓練機関に進学し、現在一般企業に就労している女性に焦点をあて、その記述を検証する。

Table 4は彼女の4年間のメッセージ(158)の名詞句・形容詞・動詞句について集計したものである。総メッセージ数が少ないので、上位10位までを示し

た。それぞれの語句は総メッセージの集計(Table 3)と同様の語を示しているが、総メッセージの集計の上位にあがらなかった「笑」「就職」の名詞句が上がっている。

5. 一生徒の具体的記述の変容

(1) 2008年度

2008年度(高等部2年生)時に書き込まれたメッセージの一部をTable 5に示す。「〇〇産業株式会社」はクリーニング工場で、集団での現場実習であった。この時点で彼女は与えられた仕事に対して「頑張ります」と記述しているのみで、その評価に関する記述は見られない。その後1月時の現場実習は「職業訓練機関」への体験入所であったが、「全部できました」「自分の目標はまあまあ出来ました」という自己評価を行っている。特に困った経験もなかったようで、仕事の厳しさに関する記述は見られない。

(2) 2009年度

2009年度は5月期に就労継続B型事業所、6月期に大型スーパーのバックヤードの現場実習を経験した。ここでは「並んでいる物がちゃんと見えるように」といった留意点や、「何処に何がわからなかった」といった困った点が述べられている。さらに「分かる所はお客様に教えられるけど分からない時は担当の方に言います」といった、自分の判断や対処方法について言及している(Table 6)。

彼女はこの実習でスーパーの仕事に興味を持ったが、同時に現在の技能では十分仕事をこなすことができないのではないかと不安をいだいた。そこで、高等部卒業後、職業訓練機関に「進学」し流通サービスについてさらに学ぶことを希望した。この背景には、同校の高等部の職業教育カリキュラムが流通サービスの学習に十分対応できていないことがあった。一部の高等部単置の知的障害特別支援学校においては専門的設備機器を整備され、流通サービスに対応したカリキュラムが実施されているが、多くの特別支援学校ではそういった対応はできていない。職業訓練機関へ「進学」することで、流通サービス等の産業現場に対応した専門的な教育を受けることが可能となる。

彼女は職業訓練機関への「進学」を第一志望とし、そのための体験実習、入学試験に臨むこととなった(Table 7)。

(3) 2010年度

入学試験に合格し、職業訓練機関へ「進学」した

Table 3 : 4年間の総メッセージの名詞句・形容詞・動詞句の集計 (総メッセージ)

	名詞句		形容詞		動詞句	
	頻度	割合	頻度	割合	頻度	割合
	24,647 語	32%	3,162 語	4%	12,958 語	17%
順位	語句	頻度	語句	頻度	語句	頻度
1	今日	1,317	良い	191	する	2,138
2	実習	1,046	大変だ	186	がんばる	1,755
3	明日	979	いい	164	行く	580
4	仕事	693	嬉しい	145	できる	397
5	クッキー	288	楽しい	145	ある	377
6	学校	260	楽しみだ	129	なる	317
7	午後	227	きれいだ	114	思う	259
8	午前	213	暑い	102	教える	249
9	最後	177	難しい	101	応援する	196
10	作業	158	美味しい	101	やる	164
11	テクノ	148	元気だ	93	聞く	162
12	皆さん	145	早い	90	並べる	158
13	昨日	135	ない	74	食べる	143
14	練習	130	うまい	73	願う	140
15	人	121	大丈夫だ	65	終わる	124
16	面接	119	上手い	59	疲れる	117
17	一緒	112	多い	52	言う	116
18	みんな	107	忙しい	51	作る	102
19	昼	106	上手だ	50	見る	98
20	クッキー並べ	104	新しい	46	来る	95

(総メッセージから教員の記述を除いたもの)

Table 4 : 4年間の総メッセージの名詞句・形容詞・動詞句の集計 (勤労青年)

	名詞句		形容詞		動詞句	
	頻度	割合	頻度	割合	頻度	割合
	1,825 語	31%	249 語	4%	1,158 語	20%
順位	語句	頻度	語句	頻度	語句	頻度
1	今日	96	良い	20	頑張る	164
2	明日	64	元気だ	19	する	100
3	仕事	59	ない	18	ある	49
4	実習	41	早い	17	できる	46
5	皆さん	36	忙しい	13	なる	46
6	笑	22	楽しい	11	行く	45
7	最後	21	大変だ	11	思う	34
8	今	20	難しい	10	やる	24
9	テクノ	14	きれいだ	8	聞く	18
10	就職	14	多い	8	言う	17

Table 5 : 2008年度のメッセージより

2008/10/20
今日から〇〇産業株式会社に実習に行ってきた。今日はシーツ、ほうふ、ピロの汚れなどないかなど見てやりました。ペアになってやりました。明日も頑張ります。
2008/10/22
今日実習3日目でした。今日はシーツだけ汚れ、やぶけがないかなど見てやりました。午後の途中からは一人でやりました。後2日頑張ります。
2009/1/28
今日の午前中はカーデニングでくさぬきをしました。自分で決めた所今日全部できました。午後からは身だしなみチェックをしました。2週間の中で頑張った事はカーデニングです。楽しかったのは喫茶でした。難しかったのは美容のアーユルヴェータでした。色々な事が学べました。自分の目標はまあまあ出来ました。

Table 6 : 2009年度前半のメッセージより

2009/5/18
今日から個別実習が始まりました。今日は坂本駅の掃除、マンゴープリンの箱詰め、箱折りをしました。マンゴープリンの箱詰めは出来ましたが箱折りは難しかったです。たくさん箱折りました。明日は最後まで箱折りができるように頑張ります。
2009/6/9
初日の午前中は化粧品で品だしをしました。シャンプーや、ケイプや、並んでいる物がちゃんと見えるように前にだしたりしました。午後からは加工食品ではお菓子の増やしたり、ボンジュースがやすかったのでもなくからダンボールを開けて並べたり、カップ焼きそばも箱から出して並べて終わりました。梅をつける時に入れる氷砂糖もならべました。今日の午前中は医薬品で品だしをしました。何処に何がわからなかったので聞いてやりました。
2009/6/10
今日は1日化粧品でリンス、シャンプー、洗顔クリーム、ヘアカラー、などの品だしをしました。何処に何があるか分からない事もあったけど担当の方に聞きながらやりました。自分でも探して並べました。今日もお客さんに質問されて最初は分からなかったのでもお客さんに少々お待ちくださいと言って担当の方に伝えました。でも歯ブラシはここだけですか？と聞かれたのでこちらにもありますと教えました。一緒のお客さんにスプレーは何処にありますかときかれたのでこちらにありますと言って教えました。分かる所はお客様に教えられますけど分からない時は担当の方に言います。やってくるうちにだんだん覚えられます。明日は又違う所なので頑張ってきます。

彼女は、日々職業訓練に励みながら、企業面接を受けていくことになる。前半の記述をTable 8に示す。入学時点では、彼女は容易に就職できるものと考えていたようである。しかし、就労を希望する者は多く、その中で勝ち抜いていくための努力が必要なこ

Table 7 : 2009年度後半のメッセージより

2009/11/9
書き込みできなくてゴメンなさい。朝早く家を出て通勤して帰日も6時間回ってしまい、少し疲れてしまい寝るのが早くなって書き込み出来ませんでした。初日は販売で「キュウリ」「ミカン」「リンゴ」「じゃがいも」の袋詰めをしました。袋に入れた後3回～4回ひねってテープで止めるという事をしました。最初ひねるのに迷ってしまいました。3回～4回やって行くうちに出来ました。2日目も販売で「ミカン」を230グラム～250グラム計って袋に詰めてひねってテープで止めるという事をしました。でも1個だけ計り間違いをしてしまいました。今日も販売で今日はパックに魚を入れてラップをするという事をしました。
2009/11/12
今日はミカンを230グラム～250グラム計って袋に入れた。5回やって一回ミスしてしまいました。レジ訓練は2回やりました。一回目は上手く出来ませんでしたが2回目はまあまあ出来ました。後テクノでは1週間の最後の日、金曜に原因対策というのがあり、良かった点悪かった点を書いて、どうしたら、よくなるか、皆で考えるという事を金曜日に発表して考える事をしては、私も今日書きます。明日販売は最後なので頑張ってきます。
2009/11/16
今日から事務でした。社内メール便の仕分けで、28分32秒かかったけどミスなく分ける事は出来ました。出来なかったとよりミスがあったのはバーコード入力が出た文章発送準備は15分で14枚出来たのですが、テープが短くなってミスでした。2枚だけOKでした。明日も一緒に事するのでミスしないように頑張ります。

とに気づくことになる。清掃業務の企業は面接・見学まで話は進んだが、採用には至らず、彼女は現実の厳しさを後輩達に吐露している。

その後、彼女はネットスーパーの面接、現場実習を経て、採用に至る。Table 9では、採用までの様子を後輩に伝えている。「めっちゃめっちゃ頑張ってるなきゃ」「夢に近づける」「実習してこれは無理かも知れないって思ってしまったことありました」「仕事しんどいけど楽しくしています」といった記述からは、働くことの厳しさの自覚や、それに対する意気込みが見られる。

(4) 2011年度

ネットスーパーとはWebサイトで注文を受け、商品配送を行うインターネット上のスーパーマーケットである。彼女は注文票に従って広い倉庫の中から商品を取り出し（ピッキング）発送担当に渡す業務を行っている。彼女はここでの業務をうまく遂行するための様々なコンピテンシーを学んでいくこととなった。

学校での教科「職業」の授業において、教員が彼

Table 8 : 2010年度のメッセージより (その1)

2010/5/11
実習2日目お疲れ様。難しいことも諦めずに頑張ってやれば出来ると思います。私は今販売でバックに魚とか入れてラップ作業をしています。テクノの実習の時に出来なかった事が出来たことがあります。ラップの引っ張りがたりなくて緩んでたのが張れるようになり、リングのバックラップも全く出来なかったけど綺麗に出来るようになりました。あと3日間全力で頑張ってください。体調管理もね、いつも応援しています。
2010/9/28
皆さん運動会の練習は順調ですか??就職面接会2日も終わりました。27日京都はうまく話すことが出来ませんでした。京都は『〇〇ホテル』を〇〇君も受けました。『〇〇』は受ける人が多かったから多分無理かなって思います。『〇〇ホテル』『清掃業務』は良いなあって思いますが本命ではないので。京都は面接の見学もかねて受けました。そして今日は滋賀の草津の就職面接会について私は『日本△△』も『清掃業務』の面接を受けました。今日は昨日よりうまく行きました。
2010/9/28
面接の中の少し報告します(笑)。最初は障害持ってて不自由なことはありますかと聞かれました。答えたとケイテムは清掃業務ですが掃除機やホウキで掃除機はできますか。出来ますと答えました。バイトの経験ありますかとか清掃業務の経験はありますかなど聞かれました。質問に答えながら話したら、なんと面接会なのに一度見学に来ませんかと話になり、びっくりそのあと、一度実習しませんかといられてそれまたびっくりでした。実習するなら何日間ぐらいと聞かれて5日～2週間しかやったことなくて、あまりの急にびっくりして「2週間ぐらいですかね」と言ったら、じゃ1ヶ月の実習してみましょと話になり、明日か明後日に電話があるみたいです。
2010/10/27
皆さんこんばんわー。久々に書き込みに来ました。皆さん元気がいい風邪ひいてないかい!?. 最近寒くなって来ましたね私は風邪気味です。今日は実習の勉強したんですね。就職には大切な事なのでしっかり勉強して下さいね。ところで今年は就職する場所がなく、最悪です。うちは日本△△見学プラス話と検討でダメでした。就職できるか不安ばかりです。明日私はネットスーパー◇◇の面接に行ってきます。競争率なので不安ばかりですができる限り頑張ってきます。まち就職できるか不安だらけやけど。みんなも不安にならないで全力で頑張ってくださいね。ではまたね。

女にこれから就労を目指していく「1年生へのアドバイス」を尋ねている。その回答として彼女は「笑顔」「その人の顔と手元を見て聞く」「メモを取る」「分からない時はすぐに聞く」「声の大きさ」「言葉遣い(は必ず敬語)」「お世話になった方へのお礼の気持ち」「元気良い挨拶」をあげた(Table10)。ここで彼女は、知的障害により理解や記憶に困難があることを自覚し、それを補う方法として視線の置き方、記憶を補助するツール(メモ)の使用に言及してい

Table 9 : 2010年度のメッセージより (その2)

2010/11/4
文化祭お疲れ様でした。上手く出来ましたか。そうそう来週の12日から26日まで実習が決まりました西大路の◇◇で、2週間実習でいい評価やと就職の可能あるそうです。めっちゃめっちゃ頑張ってやらなきゃ。夢に近づける。にゃは。と言うわけです。頑張って行きたいと思います。みんなも頑張っ。
2010/11/30
皆さんお久しぶりです。元気に頑張っていますか?私は11月12日～今日まで実習でした。本当は26日まででしたが延長になりました。でも延長になった理由はこの実習が就職かかって実習での評価が良ければ採用の可能性はあるとは言われたけど、実習してこれは無理かも知れないって思ってしまったこともありました。でも落南店は人が欲しいとのことでしたが。本社から返事待ちで今日返事が聞けました。
2010/11/30
今日3時まで実習して、そのあと、偉いさんとテクノの先生と話で偉いさんが手で[絵文字のOKサイン]されて最初??ってなってたけど、採用オッケーのサインでした。就職することが出来ました。京都の◇◇落南店のネットスーパーに就職します。私はスーパーに就職したかったのもめっちゃめっちゃ嬉しいです。夢に向かって就職出来て嬉しい気持ちでたくさんです。頑張って行きたいと思います。みんなも頑張って下さいね。応援してます。ではまたね。
2011/2/17
皆さんめっちゃ久しぶり。元気に頑張っていますか。三年生もそろそろ就職決まってきましたか。残りの学校生活楽しみや。うちもなれてきています。初給料日も1月に貰い計画を立てて使って家にもまだ少ないですが入れて貯金もしています。たまに小さなミスもしてしまうことがあり、ミスしてしまった。ガーンってなってしまうけどミスしないようにきをつけてしています。仕事しんどいけど楽しくしています。皆さんも就職出来るように頑張ってね。

る。これは、彼女がこれまでの高等部や職業訓練機関での学習を経て、現在の職場で必要であると考えたものであり、彼女の職場におけるコンピテンシーのひとつであると考えられる。

(5) 2012年度

2012年度に入り、彼女は持病の定期検査のため短期入院をしている。退院後の4月5日のメッセージでは「たまに仕事ヤダー」「1年ちょいになると嫌々病が出てくる」といった記述が見られる。高等部時代から念願のスーパーへの就職ではあったが、現実の就労生活の中では様々な困難も経験している。「仕事もなれ、スピードアップもして」「新しい仕事も教わり出来るようになりました」と記述する一方、「人間関係がうまくいかなくて悩んでいます」と

Table10：2011年度のメッセージより

2011/9/12
<p>■■先生。そうです。今日はそんなに忙しくなかったです。明日は火曜日なので忙しいけど頑張ってきます。今日ベッパーの皆さんは働くための勉強したんですね。「お金もらうため」「友達作るため」「ほめてもらう」とか答えたひとも居るんですね。働くのは生活していく為でもあり、生きて行く為でもあると思います。仕事して分かりました。確かにほめてもらうと嬉しいですがあんまり仕事してほめてもらう事は無いですね…うちの場合ですが…。では今日はこの辺で!.</p>
2011/11/3
<p>初めまして□□です。1年生へのアドバイスは、1番は笑顔。笑顔はやっぱり大切。2番は、話を聞く時や説明の時。恥ずかしい場合や緊張する場合があるかも知れませんが、話聞く時はその人の顔を見て聞くと良いですよ。説明してもらうときは、顔と手元も見てしっかりきいて覚えて下さい。3番はメモを取る。メモをとっておくと少し困った事があってもメモを見たら分かるから安心出来ます。それにメモしておけば忘れてた時とかに役にたつかも…。4番。分からない時はすぐに聞く事。分からないからといって止まったり、悩んででは進みませんすぐに聞くと教えてくれますよ。同じ事を何回も聞き過ぎは良くないので注意してください。5番声の大きさ。小さい声だと相手の人に聞こえないし何言ってるかも伝わらないよ。だからと言って大きいと怒ってる？ってなる事もあるから気をつけて。話す時は聞こえる大きさで。うちも声が小さい時が多く、良く注意されますきおつけなきゃ。6番実習先の方への言葉遣いは必ず敬語。なれてくると、なれなれしい話し方になる人もいるので気をつけて下さい。最後は教えて頂いた方々やお世話になった方にはちゃんとお礼の気持ちは大切に。ちゃんとお礼の気持ちがあれば大丈夫です。教えてもらった後、やってもらった後、助けてもらった後はありがとうございますをちゃんと言えば大丈夫です。私も良く使ってるのでいいと思います。やった方もやって良かったと気持ち良いし、また助けてあげよって気持ちになりますから。あと、実習先で挨拶も元気良くと良いですよ。印象が良くなりますから。一年生の皆さん頑張ってくださいね。では。</p>

Table11：2012年度のメッセージより

2012/4/5
<p>●●ちゃんは販売コースで訓練するんだね。◎◎さんは販売コース？それとも事務コース？教えてね。私は仕事しばらく休み検査入院してました。昨日から仕事復帰(笑)。検査入院してる間に一人転勤されて代わりに新しい社員さんが入って来てました。もうひとりもほかの部所からも入って来て人数が増えています。仕事もなれ任される仕事が出来ました。人間関係がうまく行かなくてたまに仕事ヤダーってなります。けどお母さんに愚痴こぼしながらも仕事頑張っています。1年ちょいになると嫌々病が出てくるけど。頑張ってます(笑)。ではまたね。</p>
2012/5/19
<p>皆さん元気ですか？私は元気です。最近書き込みしないで読んでるだけです。仕事もなれ、スピードアップもして早ければ一人で5件～7件ほどパッキング出来るようになりました。仕事は楽しんでやっております。新しい仕事も教わり出来るようになりました。(パソコンでの仕事)。最近人間関係がうまくいかなくて悩んでいます。たまに仕事辞めたいな～ってなります。けど良くしてくれる人もいて仕事終わりにお茶しながらいろいろ話しています。ぼちぼち仕事頑張ります。明日は久しぶりにテクノの時の友達と京都の京極に行きます。またアイドルショップでガチャガチャしてきます。ストレス発散含め楽しんで来ます。林君へ、仕事順調ですか？仕事になれてきてますか？これからも頑張ってくださいね。応援してます。</p>
2012/7/29
<p>お久しぶりです。皆さん元気ですか？毎日暑いですね。私は毎日暑くてのびてます。夏休み楽しんでますか？今日滋賀県障害者スポーツ大会に出場しました。テクノの時の友達とボーリングの競技に行きました。朝◇◇先生や▽▽君にも会いました。全国大会出場ではありませんが一般の方で女子2位でメダル貰いました？初出場だったのに自分が呼ばれるとは思わなくびっくりしました。▽▽君もメダル貰いましたよ。明日からまた仕事頑張っていきます。皆さん暑いので熱中症にはきをつけて下さいね。</p>

も述べている。

これらの問題については「良くしてくれる人もいて仕事終わりにお茶しながら」「ストレス発散含め楽しんで来ます」といった記述も見られ、様々な人間関係の悩みの解消方法を試みている様子が見られる。さらには「障害者スポーツ大会に出場」するなど、余暇利用にも工夫が見られ、生活の拡がりが見られる。

6. 考 察

特別支援学校高等部の教員は、進路アフターケアや青年学級（同窓会）等の場を利用して卒業生の情

報を得ることが多い。卒業生と卒業担任が個人的な情報交換を行う例も少なくないが、組織的なものにはなりにくい。そのため、卒業生の貴重な「つぶやき」を拾うことは困難である。

本Web掲示板システムは携帯電話等の端末を用いて、卒業生が日常的に自分の思いを伝えられる環境を実現した。これは本人にとって、先輩後輩も含めた学校時代の仲間と情報交換を行う場であるとともに、教員にとっては移行教育に関する様々な情報を得る場となった。

本稿では記述を追うことで、産業現場で働く一名の生徒（卒業生）のメッセージを時系列に見ていくことで、本人の職業に関する考えの深化を見ること

ができた。彼女は高等部2年生の時点では職業生活について漠然とした思いしか持っていなかった。現場実習を重ねることで、スーパーで働くことへの希望を強めていくが、当時の能力では就労を継続していくことに不安を持ち、さらなる職業教育を受けることを希望した。職業訓練機関への「進学」後、さらなる現場実習や面接を経て、就労することの厳しさを身にしみて感じ、研鑽に勤めていく。希望のネットスーパーに就労後も、様々な課題に直面しその解決方法を模索している。

知的障害特別支援学校高等部では、卒業後の進路に向けた移行教育に重点が置かれる。軽度の知的障害のある生徒は一般就労を目指すことが多いが、その指導を構成する上で、卒業生の状況は良い資料となりうる。滋賀大学教育学部附属特別支援学校では2008年から、電子掲示板を使用し、卒業生と在校生の情報交換を行ってきた。この記述データは就労に対する生徒たちの思考を分析する上で有効な資料となる。

本事例では、特別支援学校高等部の教育だけでは、十分な移行教育ができない事例が示された。高等部卒業後の職業訓練機関等での発展的な職業教育や、就労の場での学びも重要であり、それらを包括した移行教育が必要である。

知的障害特別支援学校高等部のカリキュラムを改訂障害者総合支援法等に代表される社会の変化に対応させていくためには、卒業後のさらなる職業訓練・職業教育も想定する必要がある。高等部段階で習得すべき内容を整理し、生徒の能力や志望に応じて発展的学習ができる進路が選択できることも必要である。

付 記

本研究の一部は、平成23年度～25年度科学研究補助金（基盤研究（C）：課題番号. 23531289：研究代表. 黒田吉孝）「キャリア教育推進のための携帯Web活用による知的障害者の学びの共同体の構築と検証」により行われた。

参考文献

- 1) 文部科学省（2009）：特別支援学校学習指導要領改訂のポイント
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/30/1234773_003.pdf
- 2) 文部科学省中央教育審議会（2011）：今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について、中央教育審議会答申、株式会社ぎょうせい
- 3) 関 宏之（1996）：産業構造の変化と職業リハビリテーションの課題、リハビリテーション研究、第85号、pp. 11-20
- 4) 清水 潤・内海 淳・鈴木 顕（2005）：知的障害者の「新たな職域」開拓の背景と動向、秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要第27号、pp. 45-54
- 5) 文部科学省（2007）：特別支援教育の推進について（通知）、19文科初第125号、文部科学省初等中等教育局
- 6) 文部科学省（2012）：平成23年度特別支援教育体制整備等状況調査
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1321182.htm
- 7) 原田公人・千田耕基・柳沢亜希子（2009）：「障害のある子どもへの進路指導・職業教育の充実に関する研究」アンケート調査報告書、国立特別支援教育総合研究所
- 8) 大杉成喜・木村政秀・三川綱一・黒田吉孝（2008）：特別支援教育における携帯電話Webサイトを活用した就労・移行支援の試行、滋賀大学教育学部紀要Ⅰ、教育科学（58）、pp. 111-122
- 9) 黒田吉孝・大杉成喜・石部和人・木村政秀・三川綱一（2009）：高等部自閉症生徒への携帯電話Webサイト活用による相互コミュニケーションの可能性に関する障害特性からの理論的考察、滋賀大学教育学部紀要Ⅰ、教育科学（59）、pp. 49-56
- 10) 黒田吉孝・石部和人・大杉成喜（2012）：高等部自閉症生徒の携帯Webサイト活用による職場実習を中心にした「学びの共同体」への参加と交流の特徴、滋賀大学教育学部附属教育実践総合センター紀要、第20巻、pp. 17-24
- 11) 石部和人・大杉成喜・黒田吉孝（2012）：携帯電話電子掲示板サイトを活用した就労移行支援に関する一考察、日本教育情報学会第28回年会発表論文集、pp. 320-323
- 12) 大杉成喜・石部和人・黒田吉孝（2012）：携帯電話Webサイトを活用した移行・就労支援－4年次の報告と一般就労青年の記述の変容－、日本特殊教育学会第50回大会プログラム・発表論文集（デジタルデータ）、P1-D-7

- 1) 文部科学省（2009）：特別支援学校学習指導要領改訂の